

石田まさひろ議員に現場の声を届けよう

現場の声

石田まさひろ議員から

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 看護師の基本給など、給与の見直しは怎么样了か。 | 国では国家公務員の給与しか関われないため、基本各施設で決めることになる。人を看護をするので給与は高くてもよいと思う。 |
| 2 | 同意書など記録が多く、患者ケアの時間を十分に確保することができない。そのため、仕事に対する満足感が繋がらず疲弊してしまう。また患者からも書類が多いと不満の声がある。 | 記録を減らす方向に向かっている。最低限必要な記録は何か看護協会と話し合いたいと考える。質向上のための記録には、データを取り、分析する必要があるため時間がかかる。 |
| 3 | 学童保育が少なく仕事に復帰したいが、審査があり復帰できない。施設の整備をお願いしたい。 | 病児保育などの整備が整ってきており、学童保育にも目が向き始めている段階にきているので、これから整備されていくと思う。 |
| 4 | 看護職退職者(定年退職も含む)が多く人員不足であり休暇も取れない。定年制度をなくしたらどうか。 | 定年制度をなくすのは賛成。年齢にあった仕事を割り当てる必要がある。給与は仕事内容によって変わると思う。 |
| 5 | 認知症ケア加算は日常生活自立度判定3以上で加算がつくが、1~2の患者の対応に追われている。1の患者から加算つけてほしい。患者の約1/5以上が3、1/4以上が1の患者である。 | 日常生活自立度判定がその程度の患者割合であれば加算をつけてもよいと思う。あまり多いと全患者になり加算の意味が無くなってしまふ。 |
| 6 | 同意書など書類が多く、書類の整理に費やす時間が多い。そのため、ペットサイドに行く時間が減少してしまう。看護師以外の職種でもできる業務があるのではないか。 | 看護必要度の記録は必要。どのように記録するか何を残すかは検討が必要。看護師にも事務補助加算があってもよい。コメディカルの協力も必要である。 |
| 7 | 地域包括ケアシステムの実現に向けて在宅診療医の推進をしてほしい。地方は医師不足で診療に困難をきたしている。医師の確保をお願いしたい。 | 在宅医を増やす方向で検討している。また遠隔医療を推進していくことも必要と考える。 |
| 8 | 退院調整をしているが、急性期病院から退院先を確保することが困難になっている。 | 施設を増やすことはなかなかできない。特養は自宅と考えていく必要がある。運営の仕方、価値観を変えることが重要である。 |
| 9 | 退院後、診療所へ移行する患者が多くなっている。診療所に勤務している看護師への教育を検討してほしい。 | なかなか難しいが、必要なことなので前向きに検討したい。 |
| 10 | 新人看護師教育のための体制づくりの改善。新人も看護師免許がくれば看護師として登録される。教育を手厚くすればするほど負担が大きくなる。何とかできないか。 | 国家試験終了後、研修で看護師に適しているか見極める。教育施設の整ったところを集めて教育をすることも一つの案と思う。病院としても教育にお金をかけることが必要ではないか。 |
| 11 | 外来看護の役割は大きい。配置基準は昭和23年から30対1は変わっていない。配置基準を変えて外来看護師の人員を増やしてほしい。 | 30対1配置基準を変えるのは難しい。外来で入院前の情報収集や手術説明等の加算をつける等の検討をしていきたい。 |
| 12 | 患者や家族の権利の乱用、不当な要求を訴える患者家族が増える傾向にある。現場に任せっきりでなく地域や国ぐるみで医療環境を守る方法を検討してほしい。 | 非常に難しい問題。現状では地域や国で明確なものはない。病院が中心になり行なうのがベストと考える。ブラックリストは国ではできないので、施設の中で作ってほしい。 |
| 13 | 働きやすい環境を整える努力をしている病院には助成金を出し、人材確保のための財源が増える体制を整えてほしい。 | 子の介護休暇や育児休暇、介護休暇など、益々取得する人が増えることが予想されるが財源となると難しい問題です。 |
| 14 | 看護の質向上のため認定看護師や専門看護師の配置をしたいが、中小病院での配置は厳しい。感染対策の分野だけでなく、他病院の認定看護師との交流がシステムとして可能になるとよい。 | 感染や安全の分野で意味合いが違うので、各看護協会と連携していくとよい。 |
| 15 | 看護師不足(育児休暇後の短時間正規職員制度利用者や夜勤ができないスタッフが増えている) | 看護補助者やRH、薬剤師などとの連携も考える。看護補助者体制加算の見直しも必要と思う。 |
| 16 | 急性期の在院日数短縮により、慢性期病院の重症度が上がっている。人員配置を増やしてほしい。 | 慢性期の病院ほど7対1配置が良いと思う。 |

現場から「石田まさひろ議員を再当選させるため、応援活動をしていくので頑張ってください」との声に対しては、石田まさひろ議員から「頑張ります」と力強いお言葉を頂きました。

皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

平成30年度 栃木県看護連盟研修会日程表

日時	募集人数	会場	講師
研修名	対象者	内容	担当委員会
5/28(月) 13:30~	120名	コンセーレアイリスホール	獨協医科大学病院 フライトナース 中田哲也
ポリナビワークショップ	若手会員	講演「フライトナースの魅力と活動」 GW「これだから辞められない看護師の魅力」	青年部
6/20(水) 13:00~	200名	コンセーレ大ホール	日本看護連盟 幹事長 榮木実枝
会員研修会	会員 賛助会員	講演「看護政策の実現に向けて」	組織活動 (組織対策)
7/9(月) 13:30~	25名	コンセーレカトレアルーム	栃木県看護連盟会長
支部 新役員・新担当者研修会		講義「看護連盟の役割について」 GW「新役員・新担当者としてどう活動するか」	県看護連盟
9/4(火) 13:30~	120名	コンセーレアイリスホール	JCHOうつのみや病院 医事課長 後藤 勝
中堅看護師研修会	会員 賛助会員	講演「診療報酬改訂のしくみについて」	組織活動 (教育)
10/3(水) 7:00~	80名	国会議事堂・参議院議員会館	看護職国会議員 県選出自民党国会議員
会員研修会(国会見学)	会員 非会員	国会見学・国会議員国政報告	組織活動 (組織対策)
11/9(金) 15:30~	72名	ホテル東日本宇都宮	栃木県看護連盟会長
県役員・支部長・支部幹事長・青年部 準青年部委員合同研修会		講演「それぞれの役割について」	組織活動 (組織対策)
11/26(月) 13:30~	120名	コンセーレアイリスホール	東洋羽毛工業(株) 睡眠健康指導士
会員研修会		講演「社会的な睡眠の重要性について」	組織活動 (教育)
平成31年			
2/4(月) 16:30~	120名	コンセーレアイリスホール	未定
看護連盟・看護協会合同研修会		未定	組織活動 (教育)
2/18(月) 13:30~	25名	コンセーレカトレアルーム	栃木県看護連盟会長
支部連絡員研修会		講義「看護政策の役割と活動について」 GW「看護連盟リーダーとしてどう活動するか」	県看護連盟